

2019年 8月 29日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

5-アミノレブリン酸（5-ALA）を併用した経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）の手術成績に関する後方視的研究

2. 研究責任者

海南病院泌尿器科 窪田 裕樹

3. 研究の対象

2013年1月から当院にて表在性膀胱癌と診断され、5-ALAを併用したTURBTを施行された症例を対象とします。

4. 研究目的

表在性膀胱癌に対してTURBTを施行する際に5-ALAを投与することで、白色光では視認しがたい腫瘍性病変を赤色に蛍光発色させることで腫瘍の見落としや不完全切除を減らすことが期待されている。腫瘍の病理診断、術中所見、画像検査所見、術後の再発の有無などを後方視的に評価し、無再発生存期間及び適切な症例選択について検討する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

腫瘍の病理所見、血液画像検査結果、手術成績、治療歴 治療内容、等。

6. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

7. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 泌尿器科 窪田 裕樹
電話：0567-65-2511（代表）